

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

子どもたちへ議会のしくみを説明 みえ県議会出前講座

県議会では、県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う意識の醸成に寄与することを目的に、県議会議員が小中学校や高等学校に出向いて授業を行っています。

授業では、県議会の役割や仕組みなどについて、県議会を紹介するDVD映像を交えて説明を行っています。

11月に訪れた特別支援学校 聖母の家学園では、「予算決算常任委員会では何をするのか」「グループホームを増やすことはできるか」「三重県の観光大使は何人いるのか」といった質問や「リアフリーを県内でもっと広めてほしい」といった要望が寄せられました。



11月25日 聖母の家学園での様子

また、12月に訪れた津市立南立誠小学校では、「県議会と県庁の関係は」「議員の給料はいくらか」「紀勢道が全線開通してどう思うか」などの質問が、

私立暁中学校では、「予算の使い道を教えてほしい」「通年議会になったことで

議員から負担が増えるとの声はなかったのか」「なぜ議員になろう

と思ったのか」などの質問がありました。

いずれの質問にも、議員がそれぞれ丁寧に説明を行いました。

参加いただいた学校からは、「議員から経験を交えた話が聞けて良かった」、「議員が私達の暮らしを支えてくれていたことが分かり勉強になった」といった感想をいただきました。

みえ県議会出前講座は、各学校のご希望も伺いながら実施しています。今後も、各学校からのお申し込みをお待ちしています。



12月17日 暁中学校での様子



12月1日 南立誠小学校での様子

第2回三重県議会 議員勉強会を開催

県議会では、議員の資質向上を図るため、県政を取り巻く諸課題の中から必要なテーマを選定し、外部有識者を招いた「議員勉強会」を開催しています。

12月17日には第2回として、国の「まち・ひと・しごと創生会議」の委員であり、NPO法人わははネットの理事長である中橋恵美子氏を講師にお招きし、「人口減少社会における地方創生と子育て支援の取組から」と題した講演をいただきました。

講演では、若者の流出防止を図るための取り組みや、早期の結婚・出産がポジティブなものを受け止められるムードづくり、さらには、行政・地域・企業等が一体となった少子化対策の取り組みなどについて貴重なお話をいただきました。

講演後は、議員から男性の育児参加への現状や行政が取り組む婚活支援の状況などについて、質問が出されるなど、活発な意見交換も行われました。

全国の都道府県議会議員と 意見交換し第14回都道府県 議会議員研究交流大会

11月11日、東京において、全国の都道府県議会議員が集まり、共通する政策課題などについての情報や意見の交換を行う、第14回都道府県議会議員研究交流大会が開催され、本県からも10人の議員が参加しました。

最初に、「地方自治体の将来展望と都道府県議会の役割」をテーマに、神野直彦東京大学名誉教授から、社会経済情勢の変化を踏まえ、地方分権へと向かう社会における地方議会のあり方などに関する基調講演がありました。

その後、「議会運営の改革」、「議会の政策立案機能の強化」などの5つのテーマの分科会に分かれ、パネリストの議員から自県の取組事例等の発表が行われた後、参加議員による活発な意見交換が行われました。



基調講演の様子